

2 議題

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

イ 調査の概要について

【調査目的】

- 心血管疾患に係る現状の診断・治療体制や救急対応時の医療体制の課題抽出等、現状の循環器疾患救急に係る県内の医療提供体制の調査・分析を行う。

【調査項目】

- 各医療機関の医師等の体制について
- 救急対応の体制について
- 働き方改革による人員体制の維持について 等

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

ア 調査の概要について

【調査方法】

- キントーン（Webデータベース型業務アプリ構築クラウドサービス）によるアンケート調査

【調査対象機関】

- 県内の「循環器系領域」の手術を行っている「病院」（95病院）が対象

【回答率】

- ・ 対象 95病院
- ・ 回答 50病院
- ・ 回答率 52.6%

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

【調査結果について①】

(1) 過去1ヶ月の循環器患者への救急対応に関する、医師の体制についてご回答ください。

診療科名		常勤医師			
		人員数	緊急PCIの術者数	緊急大動脈解離の術者数	急性心不全対応可能医師数
循環器内科		7.7	4.8	0.3	7
心臓血管外科		2.2	0.1	1.5	1.3
救急科		4.5	0.1	0	4
その他診療科名：	外科	1	0	0	0
その他診療科名：	総合診療科	1	0	0	1
その他診療科名：	総合内科	18	0	0	2
その他診療科名：	内科	8	0	0	8
その他診療科名：	大動脈外科	12	0	12	12

※ 医師の人数は平均人数で記載

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

【調査結果について②】

(2) 夜間当直体制について（全体の何パーセント専門診療対応可能か？）

循環器内科	回答数	割合
1 循環器内科当直100%対応	21	42.0%
2 他科と共同：50%以上循環器対応可	9	18.0%
3 他科と共同：50%未満循環器対応可	11	22.0%
4 循環器当直0%	9	18.0%
全回答数		50

心臓血管外科	回答数	割合
1 心臓血管外科当直100%対応	7	14.9%
2 他科と共同：50%以上心外対応可	7	14.9%
3 他科と共同：50%未満心外対応可	7	14.9%
4 心外科当直0%	26	55.3%
全回答数		47

(3) 過去1か月の基本的な救急対応（施設の体制）についてご回答ください

ア) 急性心筋梗塞	回答数	割合
1 24時間100%受け入れ可能	31	62.0%
2 受け入れ可能（50%以上の時間帯）	5	10.0%
3 受け入れ可能（50%未満の時間帯）	5	10.0%
4 不可能	9	18.0%
全回答数		50

イ) 急性大動脈解離	回答数	割合
1 24時間100%受け入れ可能	17	36.2%
2 受け入れ可能（50%以上の時間帯）	7	14.9%
3 受け入れ可能（50%未満の時間帯）	3	6.4%
4 不可能	20	42.6%
全回答数		47

ウ) 急性心不全	回答数	割合
1 24時間100%受け入れ可能	33	66.0%
2 受け入れ可能（50%以上の時間帯）	5	10.0%
3 受け入れ可能（50%未満の時間帯）	5	10.0%
4 不可能	7	14.0%
全回答数		50

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

【調査結果について③】

(4) 過去1か月の救急対応で実際に受け入れが困難であった理由（複数回答可）

ア) 急性心筋梗塞

	回答数	割合
1 ベッドが満床	7	12.5%
2 対応できる医師がいない	14	25.0%
3 対応の設備が稼働できない	6	10.7%
4 コメディカルがいない	1	1.8%
5 問題なくすべて受け入れた	28	50.0%

全回答数 56

イ) 急性大動脈解離

	回答数	割合
1 ベッドが満床	4	6.8%
2 対応できる医師がいない	29	49.2%
3 対応の設備が稼働できない	9	15.3%
4 コメディカルがいない	3	5.1%
5 問題なくすべて受け入れた	14	23.7%

全回答数 59

ウ) 急性心不全

	回答数	割合
1 ベッドが満床	11	19.3%
2 対応できる医師がいない	15	26.3%
3 対応の設備が稼働できない	4	7.0%
4 コメディカルがいない	1	1.8%
5 問題なくすべて受け入れた	26	45.6%

全回答数 57

(9) 働き方改革に伴い現在の体制は維持できると思いますか

ア) 急性心筋梗塞

	回答数	割合
1 100%維持できる	33	66.0%
2 50%以上維持できる	11	22.0%
3 50%未満になる	1	2.0%
4 ゼロになる	5	10.0%

全回答数 50

イ) 急性大動脈解離

	回答数	割合
1 100%維持できる	17	36.2%
2 50%以上維持できる	11	23.4%
3 50%未満になる	5	10.6%
4 ゼロになる	14	29.8%

全回答数 47

ウ) 急性心不全

	回答数	割合
1 100%維持できる	31	62.0%
2 50%以上維持できる	12	24.0%
3 50%未満になる	2	4.0%
4 ゼロになる	5	10.0%

全回答数 50

※詳細については、資料5-2を参照

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

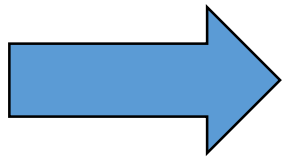
【調査結果から分かる傾向】

- 少人数の医師で回している病院が多数であり、24時間100%受け入れられると回答した施設は、急性心筋梗塞：62%、急性大動脈解離：36.2%、急性心不全：66%となっている。
- 「働き方改革に伴い現在の体制は維持できるか」の問いに対して、上記の施設の大半が「100%維持できる」と回答している。
しかし、急性心筋梗塞 8施設、急性大動脈解離 7施設、心不全 10施設で、受入れ体制の縮小が見込まれると回答。

(5) 心血管疾患に関する救急医療体制等のアンケートの結果について

【今後の対応について】

- 医師の働き方改革と医療提供体制の両立に向けて、予断を許さない状況と認識。



アンケート結果も踏まえ、医療機関・関係者等の意見を聞きながら、医療機能の役割分担や連携に係る検討を進めてまいります。